

地域活性化・発展を目指し地元大学と連携 ～ 『地域への積極的情報発信』 と 『地域を担う人材の形成』 ～

- ◆ 北海道財務局では、地域の活性化・発展のために積極的に取り組んでいる地元大学の活動に対して積極的に協力。
- ◆ 小樽商科大学と包括連携協定を締結し、地域活性化のための共同研究のテーマや手法について協議が進行中。平成26年度は道内6大学で構成する北海道学生研究会が開催する研究発表会の審査に協力。
- ◆ 今後も、研究活動等を通じて好適な情報を積極的に情報発信するとともに、学生参加の双方向型の講義も行っていくなど、将来の地域を担う人材を育成・形成を図っていく。

1. 成果事例の概要等

① 小樽商科大学と包括連携協定を締結

平成27年2月19日 包括連携協定締結の調印式を開催。
(右写真：同大学札幌サテライトにおいて)



地域を担う人材の形成



【同大学】学生への実践教育には、財政官庁の北海道財務局の力を借りたい。

〔協定事項〕

- ★ 地域経済の活性化 ⇒ 地域活性化のための共同研究、地域への還元、情報発信。
- ★ 人材育成 ⇒ 当局講師による学生向けの講演、研究への学生の参加。
- ★ ネットワークの拡大 ⇒ 当局と同大学の各ネットワークを活かし、より広範囲なネットワークを形成。

② 北海道学生研究会SCANとの連携

北海道学生研究会（SCAN）とは…
⇒ “**地域の活性化・発展**”を課題に政策提言する
学生組織（釧路公立大学等 道内6大学で構成）。



毎年、「地域」をテーマに**研究発表会**を開催。

26年度 テーマ「**北海道の可能性**」（H26.12.23発表）
《最優秀賞》「観光資源の再発見～ないところにあるもの」

〔北海道学生研究会〕
当局の幅広い知見による審査をお願いしたい。

③ 地元大学への講師派遣

26年度は17件実施。

北海道大学（財務局長）、小樽商科大学（金融監督官）、北海学園大学（財務局長、主計局課長補佐）、札幌大学（理財部長等3回）、札幌学院大学（総務部長、理財部長、主計局課長補佐、理財局課長補佐等6回）、北星学園大学（理財局企画官）、旭川医科大学（旭川財務事務所長）ほか

2. これまでの取り組みの成果等

北海道財務局では、地域の活性化・発展のために積極的に取り組んでいる地元大学の活動に対して積極的に協力。

① 小樽商科大学

『地（知）の拠点整備事業』～地域の課題解決・地域コミュニティの中核的存在となる大学を目指す。

- ⇒ 当局プロジェクトチーム“**H**”PT（**Hopeful Positive Team 14名**（若手からベテランまでの有志一同））と同大学の間で、共同研究のテーマや手法について協議が進行中。

② 北海道学生研究会SCAN

課題発見型から政策提言型への研究活動に転換。

- ⇒ **北海道財務局長が審査委員長**を委嘱。
* 審査委員は他に企業経営者、大学副学長。
研究手法に対し、客観的データ分析の必要性をアドバイス。

③ 地元大学への講師派遣

アンケートでは当局からの情報発信を強く望む声も。

- ⇒ 暗い景気の時代に育った自分の世代に少しでも明るい話を発信してほしい。

3. 今後の課題と北海道財務局の対応

《今後の課題》

学生と共同して「**地方創生**」の芽となる活動（研究等）への取り組み。

《今後の北海道財務局の対応》

- ① 研究活動等を通じて好適な情報を積極的に情報発信。
⇒ 相互のネットワーク活用で広範囲に発信。
- ② 学生との共同参加により、達成感・充実感を体験。
⇒ 将来の地域を担う人材を育成・形成。